

人が住むところは 浸水しないと想定されます

津波対策事業 概要

対策の考え方

防潮堤の構造を「粘り強いもの」にして、津波による被害を大幅に軽減。

対策延長

約14km
(防潮堤の総延長約60km)

事業完了

2022年度

想定津波高（中央区）

標高**3.9m**

津波浸水想定図



「水害リスクが低い」と評価されました

損害保険各社で作る「損害保険料算出機構」は、洪水や高潮なども含めた水害を補償する水災保険の保険料率を市町村別にリスクに応じて5段階評価しています。（2023年6月～）神戸市中央区は、5段階評価の内、2番目にリスクが低い「2等地」となっています。